

令和7年度 第1回川崎市社会教育委員会麻生市民館専門部会 摘録

■日時 令和7年5月21日（水） 午前10時00分～正午

■場所 麻生市民館 第1会議室

■出席委員	麻生区地域教育会議議長（部会長）	井上 俊夫
	市民委員（副部会長）	浜田 富美恵
	麻生区町会連合会常任理事	岡倉 進
	市民委員	田澤 梓
	和光大学現代人間学部非常勤講師	角田 季美枝
	麻生市民館サークル連絡会副会長	平出 圭子
	麻生区文化協会副会長	横川 博行
	麻生区PTA協議会副会長	前村 嘉昭

■事務局 麻生市民館相澤館長、岡上分館村野館長、管理係内藤担当係長、社会教育振興係松本係長、田中職員

■傍聴者 2名

■議事等

1 あいさつ

事務局（相澤館長）

今年度第1回の専門部会開催に先立ち、連絡報告事項

- ・市民館人事異動紹介：岡上分館館長 相澤→村野
- ・指定管理者募集記事を川崎市教育委員会ホームページに4月4日から掲載し、事業者向け現地見学会および説明会を実施した。現在、いくつかの事業者からの問い合わせ質問事項への回答など対応中。

井上部会長

長年、委員として皆さんと一緒に活動してきましたが、5月23日の麻生区地域教育会議の総会をもって議長を退任させていただきます。本来は前年度末で退任でしたが、総会が5月23日ですので正式退任が23日となります。長い間お世話になりありがとうございました。本日は部会長として最後の出席となりますがよろしく願いいたします。

2 議事

(1) 令和7年度の主な事業について

事務局（相澤分館長、岡上分館長、内藤係長、松本係長）

資料1-1（令和7年度 麻生市民館 社会教育振興事業 実施計画）および資料2-2（令和7年度 麻生市民館岡上分館 社会教育振興事業 実施計画）により事業計画及び施設整備計画概要を説明。

岡倉委員

ひとつのわPJの状況を教えてほしい。

事務局（松本係長）

昨年度までで、37事業延べ参加人数958人となっており、コミュニケーション交流学习事業としては小規模ながら、コミュニティの場は広がってきているものと評価している。今年度になって地域や地域包括支援センター等からオファーがくるようになってきており、地域に出ていく事業として継続進めていく予定である。

岡倉委員

7年度の事業を計画するにあたって、前年度の実施結果を振り返り、反省すべき点や改善すべき点を検討したうえで今年度の計画を立てていると思うが、その結果で計画を変更したのは、「障がい者社会参加学習活動」と「PTA活動研修」の2つだけなのか。

事務局（松本係長）

計画を変えようとしたが、変えられなかった事業が一つある。子育て共育学習活動の「家庭・地域教育学級」で、10回の連続講座を年2回実施して多くの参加者に参加できるよう検討したが、費用面、保育ボランティアの対応面で計画できなかった。ただし本講座への参加条件として設定した子どもの年齢制限を拡大し、参加条件の緩和を図る予定である。

角田委員

「謎走中 in あさお」は、青少年教室事業では新企画のようだが内容を教えてほしい。

事務局（松本係長）

各学校のPTA活動をさらに盛り上げるための何か企画はできないか。職場体験にきた中学生が課題解決のために何をしたらよいかを検討する中で案として出された企画です。これをPTAに紹介したところ、やってみたいが生徒がつくった簡易シナリオだとイメージがわきにくいとの話から、この企画のノウハウを持っている市民館とPTA役員、保護者有志で一度具現化するために試行することになった。当初、PTA活動研修の一つのプログラムで計画していたが、PTA研修の一つとすると参加義務と受け取られる可能性があるため、別事業（青少年教室事業）とし企画したものである。

前村委員

このイベントの目的は、麻生区の小中学生を対象として教育事業の一環であるが、イベント

の具体的なルールや仕組み、シナリオ、準備品等に関する運営ノウハウは市民館が持っているため、今後このイベントをPTAや学校が実施できるよう、市民館とPTAと保護者、地域教育会議が施行的に実施しノウハウを学ぶイベントである。

岡倉委員

市民館の役割が、地域や学校にまで広がっていくいい活動だと思う。

田澤委員

予算は、今年度の予算として決定している額か。次年度はこれがベースとなるのか。ひとのわPJは予算ゼロであるが、これまで9百件以上も事業をやっているのであれば、多少の予算はつけてもよいのではないか。

事務局（松本係長）

ひとのわPJでいうと、主催者がのちに地域で活躍できるように人材を育成する目的もあるため、主催者が収支を意識した事業経費を学習する意味でも、行政はひとのわの各事業について費用負担はしない。

次年度の予算は、基本的に今年度事業予算をそのまま指定管理事業者に引き継ぐ予定である。個々の事業別予算配分は、指定管理事業者により見直される可能性がある。

岡倉委員

指定管理事業者に、「〇〇事業は継続してほしい」という事は言えるのか。

事務局（松本係長）

落札した指定管理事業者との調整による。

角田委員

次年度以降、指定管理事業者と区役所側とがどのように事業分担するかはわからないが、専門部会として継続してほしい事業をまとめて提示したいと思っている。別途調整したい。

事務局（松本係長）

基本的には現在実施している事業は、すべて引き継がれる。（ただしひとのわPJは、現在は、麻生市民館では必須事業ではないので、次年度以降の継続実施については、指定管理事業者との調整が必要となる。）

井上部会長

本日の会議資料について、会議資料には、ページを入れること。また、実施計画に記載の各事業については、PDCAが回っていること（前回実施実績に対する振り返り結果がどのように今回の実施計画に反映されているか）がわかるよう計画書に追記願いたい。

前村委員

各事業について、前年度と比較できるよう、新規・継続・廃止の3つに分けて、それぞれ理由を記載したリストを準備してもらえるとわかりやすい。

(2) 令和6・7年度麻生市民館専門部会議題について

岡倉委員

今後の市民館のあり方について「専門部会は、市民館に関わる各種事業について調査し審議するところ。市民館のあり方については、すでに「市民館は生涯学習の拠点」と定義されており、その市民館のあり方については、社会教育委員会議で議論すべき話であると考えている。

角田委員

社会教育委員会議では、川崎市全体の市民館のあり方について議論はするが、麻生市民館のあり方については議論しない。議論するのはこの専門部会であると考えている。

井上部会長

角田委員から説明のあった「今年度の専門部会の検討についての意見」の内容について、まずは、1項（会議資料がある場合には、2週間程度前までに委員に事前配布していただけないか）について協議したい。

部会の資料配付が遅いのは、私も同感。資料を事前に理解したうえで、会議に臨みたい。

平出委員

私はいつもスマホを使用しているので、紙での配布があると非常に助かる。

濱田副部会長

限られた時間で効率よく会議を進めることができるよう、会議資料は早めの配布をお願いしたい。

角田委員

会議欠席者もいる場合もあるので、欠席者から事前に意見を聞いておくためにも資料は早めの提示をお願いしたい。

田澤委員

会議の次第に、出席者が会議までにやるべきことを書いていただけると助かる。

井上部会長

会議の資料は、遅くとも会議開催の2週間前までに事前配布する。（紙配付の場合には、郵送期間も考慮）紙配付希望者は、平出委員のみ。

井上部会長

次に2項（専門部会の検討回数を増やしていただけないか）について協議したいと思います。これまで、年4回の決められた専門部会以外に、みんなが集まって審議することはなかったが、必要であれば今後回数を増やすことも考えなければならない。

角田委員

今年度何を審議するかにもよる。メールでのやり取りで審議が進めばよいが、内容によっては、対面で審議したほうが良い場合もあると思う。

平出委員

資料が2週間前に配付されるようになるので、会議に出席する前に各自意見をまとめることができる。当日の会議が早く進行し効率化が図られるため回数を増やさなくてもよいかもしれない。

岡倉委員

4回の専門部会以外に行う会議はどのような形で行う会議なのか。会議の位置づけは。

井上部会長

今決められている部会の中に、いくつか審議するための会議を設定するイメージ。部会として意見を集約するため委員半数以上の出席は必須である。

角田委員

何回実施するかは何を審議するかの議題による。事前に資料が配布されるようになれば、会議が効率化されるので、回数は増やさなくてもよいかもしれない。

井上部会長

次に3～5項（重点的な検討項目3つ。検討項目の長期短期の視点。図書館も含めた今後の在り方。）について協議したい。

角田委員

今年度、何をどこまで話すかにもよるが、まずは、今後の麻生市民館の全体像を共有できるかどうか。共有出来たら、短期長期の項目に分け、長期の項目については、今後引き続きこの専門部会で審議していく。短期の項目については、今年度どこまで審議するかを決めていきたいと考えている。3つの重点検討項目に対して抽出した具体的検討事項により、今後の部会の回数も決まってくるのではないかと。

岡倉委員

短期的、長期的のイメージがわからないが、重点検討項目3つについて、現状を調査し今後の方向性を検討し提案していくことには賛成である。

角田委員

短期は今年度、長期は、指定管理導入後の3年から5年のスパンで考えている。

井上部会長

角田委員がまとめた重点検討項目の具体的事業名については、各委員で確認し共有していただきたい。

濱田副部長

角田委員作成のリストに記載された事業すべてを検討対象とすると検討項目が多いので、どの項目にフォーカスするか決める必要があるのではないかと。

角田委員

3つの重点検討項目（市民参加できる仕組みとは/利用者や地域住民の声を把握する方法や活用方法/地域との連携推進方法）のそれぞれで協議する事項をたたき台としてつくる必要がある。

前村委員

3回の専門部会が終わった後のアウトプットイメージはどんなものになるか。

角田委員

選定した各項目について調査検討して、わかったことわからなかったことなどを整理する。そのうえで課題を抽出するイメージである。

井上部会長

重点事業にある利用者懇談会の実施について、現状実施している市民館の状況を調査してほしい。これまでどのようにやっていたか、指定管理になってどのようにやる予定かなど。

事務局（相澤館長）

高津、中原市民館の状況を調査する。

濱田副部長

第2回専門部会に向けてのたたき台の準備検討会をおこなう。

角田委員

利用者懇談会、市民提案（市民自主学級、市民自主企画事業）、企画運営委員（平和人権、

男女共同推進、多文化共生など）は他の市民館の状況を調べてみないとわからないので少し時間が必要と思う。準備検討会は7月下旬から8月にしてほしい。

濱田副部長

角田先生がつくったフォームのようなものを各自作成いただき、それをもとに議論する。各委員が作成する資料のフォーマットは、濱田と角田委員で検討し作成する。

濱田副部長

8月5日の午後に検討会を行う。検討会に先立ち、フォーマットを作って皆さんに書いてもらい、7月31日PM5時までに市民館に提出する。

事務局（相澤館長）

資料のメール配信、会議当日の資料コピーは市民館で対応する。

角田委員

市民館からの話も聞きたいので、市民館職員も参加願いたい。

事務局（相澤館長）

了解。なお次回の専門部会は8月下旬を予定しているが、8月5日の検討会の結果を反映しての専門部会であれば、9月上旬にずらしたほうがよいのではないか。

事務局（内藤係長）

特に意見がないので、次回の専門部会は、予定通り8月21日から29日の間で調整する。なお、第3回目の専門部会も予定通り12月上旬を考えているので、併せて調整する。

(3) その他

【市民館だよりについて】

角田委員

6月の市民館だよりについて、指定管理のことは掲載したか確認したい。掲載していないのなら、今後市民館だよりに指定管理制度導入に向けた準備状況を掲載してほしい。

事務局（相澤館長）

指定管理事業者が決まり、市民に対して説明会を行う案内は市民館だよりに掲載する予定であるが、導入状況の現状については定期的に市民だよりに掲載する予定はない。

角田委員

市民館だよりに指定管理制度導入にむけた進捗状況や指定管理制度とはどういうものかを掲載していただきたい。

事務局（相澤館長）

市民館だよりは、市民館で実施する講座やイベントを個人に知らせるためのものであるため、事業者向けの指定管理事業の話は、そぐわないと考える。

角田委員

指定管理制度導入が始まってから、市民館だよりに指定管理制度を掲載するのであれば、その前から事前アナウンスしてもよいのではないか。

横川委員

市民館を利用する市民にとっては、指定管理制度導入になっても何も変わらないのであれば、あえて掲載する必要はないのではないか。

前村委員

市民館だよりに指定管理制度導入の進捗を掲載する目的は何か

角田委員

指定管理制度導入に向けた手続きが進んでいることを、市民館を利用する人、利用したいと思っている人、市民館だよりを読む人に指定管理制度導入後も市民館を利用してほしいため。また市民館を利用する人を増やしたいためでもある。

前村委員

必要のない情報は載せないほうが良いと思うが、知ることによるメリットと知らないことによるデメリットを考えるべきと思う。

角田委員

2023年度、麻生市民館専門部会でサークル祭の参加者に対してアンケート調査をした。指定管理制度そのものや川崎市の市民館・図書館に指定管理者制度が導入されることを知らないという意見が7割もあったので、それだけ指定管理制度には興味関心があるのではないかと思う

濱田副部長

市民館だより発行の目的と照らし合わせて、掲載すべきか否かを検討したほうが良い。

【専門部会の資料公開について】

角田委員

専門部会の会議資料と議事録をHPに掲載してほしい。専門部会が何をやっているか周知するため。以前からお願いしている。

(4) 次回の専門部会について

次回第2回専門部会は8月下旬（21日～29日）に計画しています。
日程調整に協力ください。